ふたばこども園
園便り 10月号

ふたばっ子

令和５年10月２日発行　　文責　園長　納富博文

こすもす

研修会(9/14)へのご協力　ありがとうございました

９月１４日（金）に和洋女子大学の田島先生をお招きして先生方の研修会を行いました。当日は、ＥＣＥＱ（イーセック）という研修の手法を使って行いました。保育を公開し、県内の子ども園等の主任クラスの先生方とふたばの教育・保育のあり方について意見交換等を行いました。また、大分や福岡など県外からも参加があり、大盛況でした。

参加された先生方みんなが、子ども主体で遊びを中心とした教育・保育の様子に感心され、絶賛でした。

また、講師の田島先生は３年続けて来園いただいている先生ですが、毎年、教育・保育の質の向上や先生方の成長が見られると驚かれていました。ふたばの教育・保育を全国に紹介していきたいと言われていました。

たくさんの他園の先生方や講師の先生からお褒めの言葉をいただき、ふたばの先生方のモチベーションがさらに高まったと思います。これも、保護者の皆様の暖かいご協力やご理解があったからこそだと感謝しています。本当にありがとうございました。そして、この成果は必ず日々の教育・保育に活かしていきたいと思います。

祖父母とのふれあい会　大盛況でした

新型コロナウイルスが５類に移行し、感染もいくらか落ち着いてきたことから、今年度初めて「祖父母とのふれあい会」を実施してみました。おかげさまでたくさんのおじいちゃん、おばあちゃんに参加していただきました。参加された人数を確認したところ、なんと２５０名を超える数でした。

お孫さんと夢中になって、笑顔いっぱいで遊んでおられる姿をたくさん見ることができました。この日の園は一日中、温かい雰囲気でした。残暑厳しい中にご参加いただき本当にありがとうございました。

ただ、初めての実施であったために、駐車場の混雑や園舎への入り方等で不備な点やご迷惑をおかけした点があったと思います。次回の実施は反省点を活かして、今年度よりもスムーズにできるようにしたいと思います。

10月14日　鈴木みゆき先生講演会

すでにポスター掲示（右写真）やコドモンでお知らせしていますが、１０月１４日（土）１４：３０～　「かしこく・げんきに・きげんよく　～　脳と身体を育てる生活リズム　～」の演題で鈴木みゆき先生の講演を予定しています。

先生は、現在、國學院大学子ども支援学科の教授（医学博士）で、「早寝・早起き・あさごはん」をいち早く提唱された先生です。

また、現在、こども家庭庁の「こども家庭審議会」の委員を務めておられ、日本の、これからの子育ての方向性を検討していく、重要なお仕事をされています。

今回、大変多忙な時間の合間を縫って、ふたばこども園の保護者様および職員に講演をしてくださることになりました。

先生のお話は、『とても面白く、子育てに大いに参考になった。』『時間の経つのを忘れてしまうくらいの内容や話し方である。』などの評判があります。是非、たくさんの保護者様のご参加をお待ちしています。

なお、講演時間は、預かり保育（無料）を実施し、講演に参加しやすいような対応をします。よろしくお願いします。

幼児期の食習慣（食塩の摂取量）の調査、研究へのご協力を

神埼市にある西九州大学大学院の栄養学専攻堀田教授より、「幼児期における塩育評価指標としての尿中Na/K 比の有用性に関する研究」への協力依頼がありました。（次ページ掲載：協力依頼概要版）

何やら難しい研究テーマですが、子どものふだんの食生活に関するアンケートと尿中のナトリウムやカリウムの量を調査し、幼児期の適塩教育（塩育）の方法や内容を検討する研究のようです。

調査対象の園児は、現在、年少児と年中児で、調査研究に協力していただけるご家庭となります。（調査へのご協力は任意です。）調査にご協力いただいた方には謝礼が出るそうです。

後ほど、コドモンのアンケートで、調査の協力依頼について概要版でお知らせします。また、ご協力いただけるかどうかの調査をさせていただきます。アンケートの回答期限は１０月２０日までです。どうぞよろしくお願いします。

10月28日（土）運動会です！

今年度は参観者数の制限なしで運動会を行います。ただし、感染症への基本的な対応（密を避ける）のため、時間を設定して学年ごとの実施とします。運動会の詳細な計画案は、後日コドモンでお知らせします。たくさんの参観、応援をお願いします。

（別紙：協力依頼概要版）

幼児期における塩育評価指標としての尿中 Na/K 比の有用性に関する研究における調査の協力依頼について【概要版】

※内容の詳細は別添依頼文をご覧ください。

☞　幼児期に好ましい食習慣を身に付けることは、将来の生活習慣病予防に影響を与えることが様々な研究で分かってきています。その中でも、高血圧予防には適切な野菜や果物の摂取が必要であり、また、食塩の摂取量をできる限り抑えることが重要になってきます。

☞　本研究では、お子さんのふだんの食生活に関するアンケートと尿中のナトリウムやカリウムの量を調査させていただき、幼児期の適塩教育（塩育）の方法や内容について検討します。

☞　この調査に同意いただける場合は、次の項目についてご協力いただきます。

（実施時期：令和５年 11 月頃、令和６年 11 月頃　計２回）

①BDHQ3y 食事調査：お子さんの最近１か月程度の食事に関するアンケート調査です。
記入時間は 15 分程度です。

②食生活に関するアンケート：お子さんの食習慣に関するアンケート調査です。
記入時間は 10 分程度です。

③尿検査：調査日にお子さんの早朝尿を取り、園へ提出（容器等は調査前にお渡しします。）

④身体状況調査：保育園で測定した身長、体重のデータを提供していただきます。

⑤塩分チェックシート：保護者の摂取状況について回答をお願いいたします。
記入時間は５分程度です。

☞　食事調査の結果はまとまりましたら、個別にお返しいたします。お子さんの食生活の今後の参考にされてください。また、すべての調査にご協力いただいた方には謝礼をお渡しいたします。

☞　同意いただける方は、10 月２０日(金)までに参加意向をコドモンのアンケートにてご連絡ください。後日、調査用紙、尿検査容器、同意書をセットで園を通じてお渡しします。

この調査は、研究の趣旨について園のご理解のもとにご協力をいただき、実施させていただいております。
調査に関するお問い合わせは担当者あてにお願いいたします。

この調査の担当・問い合わせ先

西九州大学健康栄養学部健康栄養学科（神埼市神埼町尾崎 4490-9）　　担当者：堀田　徳子

TEL0952-52-4191（代表）／　0952-37-9230（堀田研究室）